



料金別納郵便

日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞 中国・四国 受賞記念

高島聡平 展

令和4年3月15日(火)~21日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日21日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞は、地方のつくり手を発掘し奨励するため、開催年ごとに対象地域を変えながら行う公募展です。北海道、北陸、近畿に続き、令和2年には中国・四国地方を対象に「鑑賞」「茶陶」「生活の器」の三部門で公募しました。その受賞を記念した個展を開催いたします。

高島聡平さんは、技術としてはまだ成長途上であるものの、自分の茶碗を追求していこうという姿勢が評価され、「茶陶」部門で選出されました。

「自分の感覚を写し取ったモノをつくり、お客さんの反応を見て考えながら形にしていきたい」

大学時代の高島さんは、そんな仕事をしたいと漠然と考えていました。油滴天目に魅せられたことがきっかけでやきものに関心か向き、やがて、より原理的な性格をもつ備前焼に惹かれていきました。運良く人間国宝・伊勢崎淳氏の元に弟子入りする縁を得て、卒業と同時に北海道から岡山・備前に移りました。

高島さんの穏やかな丸みを帯びた器は、師や兄弟子たちのシャープで造形的な作品と比べると、対照的にも映ります。

「外から力を加えて形をつくるより、土が内側から表情を出していくように仕向けていくことがいまの自分の仕事だと思っています」

素材と向き合いその反応に試行錯誤する毎日がスタートしました。土の表情に注目しつつ、ご覧ください。

坂井基樹 (公益社団法人日本陶磁協会 事務局長)

柿付ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
https://www.kakiden.com/gallery/

公式Instagram



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。





高島聡平 陶歴

平成 3 年 北海道生まれ

平成 26 年 道都大学 (現 星槎道都大学) デザイン学科 卒業

伊勢崎淳氏に師事

平成 29 年 岡山県美術展覧会 奨励賞

第 34 回 田部美術館「茶の湯の造形展」入選 (令和 2 年、3 年)

平成 30 年 第 5 回 陶美展 奨励賞

令和 元年 第 12 回 現代茶陶展 入選 (令和 2 年)

令和 2 年 日本陶磁協会 現代陶芸奨励賞 中国・四国「茶陶」部門

独立 現在、穴窯のある瀬戸内市牛窓町にて制作